

平成19年度テレビ・ラジオの受信障害処理件数

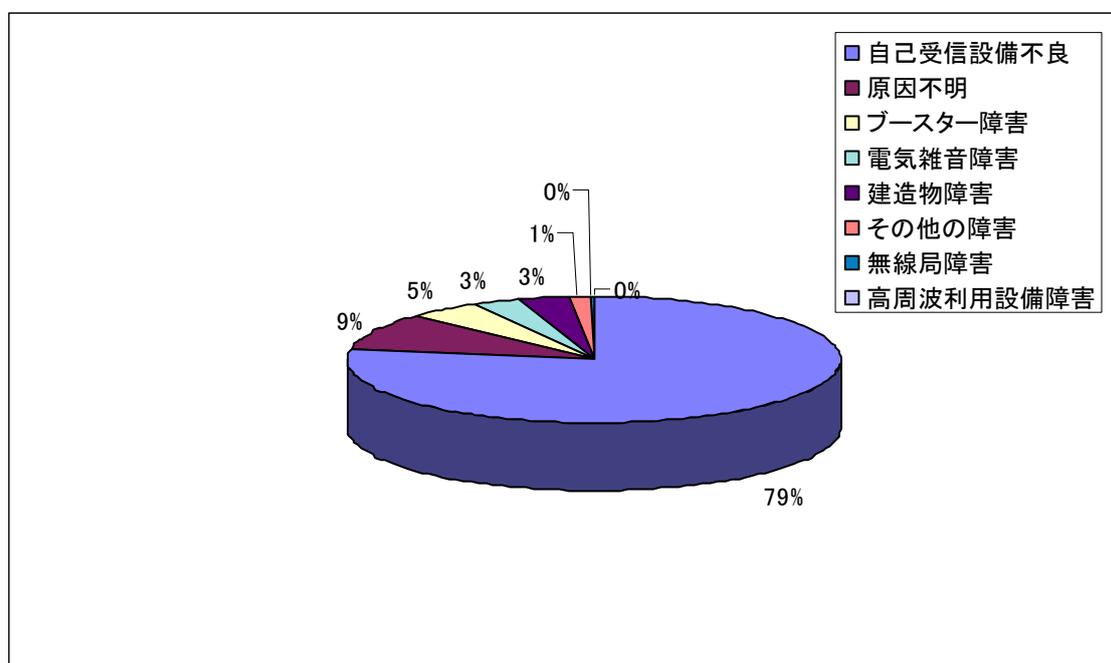
区分	自己受信 設備不良 ※	原因不 明	ブース ター障 害	電気雑 音障害	建造物 障害	その他 の障害	無線局 障害	高周波 利用設 備障害	合計
申告処 理件数	4,131 (1227)	503 (60)	244 (8)	171	170 (18)	71 (5)	15 (3)	2	5,307 (1321)

()は地上デジタル放送の受信障害の再掲

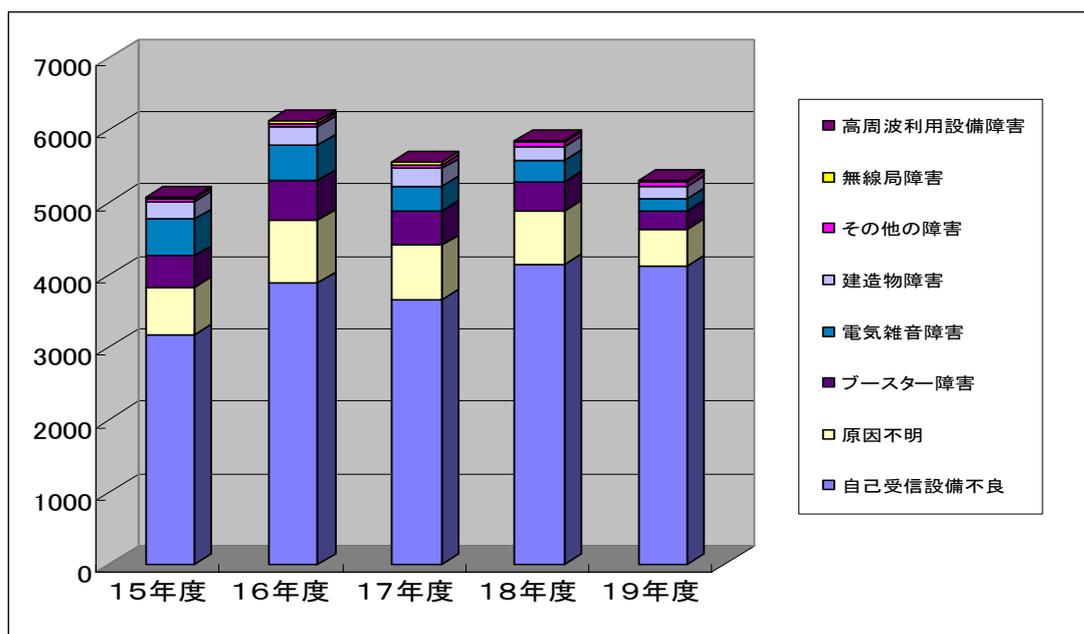
※ アンテナ、アンテナ線、テレビなどの故障や整備不良が原因のもの

処理件数は、5,307件、前年度に比べて549件（10％）減少

- (1) アンテナ整備不良、給電線接続不良などの自己設備不良に起因する受信障害が約8割以上を占める。（地上デジタル放送では約9割を占める。）
- (2) 自己設備不良の他、ブースター障害、家電製品などによる電気雑音障害及び建造物による受信障害が依然として多い。



2 テレビ・ラジオ受信障害申告処理件数の推移



	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
自己受信設備不良	3,175	3,900	3,656	4,145	4,131 (1,227)
原因不明	654	855	752	735	503 (60)
ブースター障害	431	549	484	409	244 (8)
電気雑音障害	507	480	327	287	171
建造物障害	236	263	247	196	170 (18)
その他の障害	44	41	57	57	71 (5)
無線局障害	19	33	28	22	15 (3)
高周波利用設備障害	9	8	1	5	2
合計	5,075	6,129	5,552	5,856 (360)	5,307 (1,321)

()は地上デジタル放送の受信障害の再掲